



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第 427 号

死者を思うこと、死者に支えられること

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

11月はキリスト教では伝統的に「死者の月」として位置づけられています。亡くなった身内、知人、友人、そしてすべての方を思い起こすことは、洗礼を受け、復活されたキリストの命に結び付けられ、肉体と霊魂と別離という死からの救いを待ち望む信者にとっては欠かすことはできません。これまで毎日のように死者の安息を願うミサが捧げられてきました。キリストが死を滅ぼし、福音を通して不滅の命を現わして、それによって自分が死から命へと移ったことを知っているからです(2テモテ 1・10、1ヨハネ 3・14 参照)。11月が「死者の月」として定着してきたのがいつからなのか定かではありませんが、7世紀初めにセビーリャの司教イシドルスが、聖霊降臨の祝日の翌日に死者を記念するミサを行なうように指示したことに始まるとされており、さらに、11月2日にすべての死者を記念する習慣は、998年にクリュニー修道院院長のオディロンによって始められたと伝わっています。

私事ではありますが、司祭に憧れて修道院の門を叩いた1995年。その年は修道院で集団生活を送りながら地元の友達が一人もいない近隣の中学校に通うという、それまでとは全く異なる世界に身を置き、人生が一変してしまったと言ってもいいような一年でしたが、入学する前には阪神淡路大震災、オウム真理教による地下鉄サリン事件がありましたし、入学してからは幼少の頃からよく可愛がってもらっていた叔母の帰天などもあり、思い返すと、自分なりに「現実」と向き合おうとしていたのかも知れません。どんな人生を選ぶにしても「死」からは逃れられない、宗教を持つことは間違っているのか、そんなことを中学生なりに考えていたと思います。

ところで、「死者の月」を過ごすわたしたちは信仰宣言のなかで表明している次のことばを思い起こす必要があります。「…聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます」。この宣言文には深い意味があるからです。つまり、わたした

ガンバ3	2面
侍者だより	3面
【特集】萩巡礼旅行	4～6面
幼稚園から	7面
委員会等報告・図書室より	8・9面
お知らせ・抱樸	10面

ちは生者同士の関係だけでなく、生者と死者との連帯関係にあるということ、故人が天国に入るためにはその霊魂があらゆる罪の汚れから清められ、神のもとで永遠の幸せにあずかることができるようにと祈ることによって死者を助けるだけでなく、死者がわたしたちのために執り成しをして下さることを宣言しているということなのです。よって、わたしたちは生者と死者を問わず万人との連帯関係にあり、その連帯関係は聖徒の交わりを土台としています。「聖徒の交わり」とは「聖なるものの分かち合い」と「聖なる人々の交わり」という意味を持ち、聖徒たちの交わりがまさに教会なのです(『カトリック教会のカテキズム』(946番、953番、958番)参照)。

生者と死者との交わり。キリストをとおして実現するこの交わり、つまり、キリストの命にあずかる者として死者の安息を祈り、キリストのいのちを生きさせた死者の取り次ぎによってわたしたちの信仰を新たにすることができますように。



ガンバ3

召命を祈る会

今回、水巻教会で「召命を祈る会」を発足しました。

福岡の神学校が今年度をもって閉鎖されることが決定されています。

神学生もいなくて信徒も減少しているのだから仕方がないと思っはいいないでしょうか。私自身、召命なんて自分には関係ないと、他人事のように思っていました。

でも、そうではないということを改めて知らされ、微力ではありますが、神父様の指導の下、教会の交わりの中で兄弟姉妹とともに関わっていきたくと思っています。活動内容は、月一回小倉教会での市内及び近隣の「祈る会」メンバーとのミサとミーティングの分かち合い、日曜学校への参加、アバイヤ司教様と共に捧げるミサへの参加などです。

現在6名で活動を始めていますが、是非皆様の参加をお待ちしています。

残念なことに男性の方が一人もいませんので、宜しくお願いします。

リーダー・刘馬 須美江



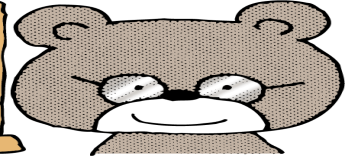
Aグループ 分かち合いの様子



召命についてのお話

侍者だより

遠賀地区 パウロ・濱村 誠二



～呼ばれています～

私が好きな本でマリア・ワルトルタ著「聖母マリアの詩(うた)」があるのですが、その中に登場する人物の中で、主の御降誕時に出てくる羊飼い達の言葉と行動に胸を打たれました。

貧しく無知な羊飼い達は、12月の寒い夜空に大きな星と大勢の天使達を見て天使達の主の御降誕を賛美する歌と声を聞きつけて、馬小屋で産まれたばかりの御子イエス様の元へはせよります。外から様子をうかがうと、この聖家族の貧しさを知り、何かしようとして自分達にできる最大の贈り物として、搾りたての暖かいミルクと生活の糧である子羊の毛皮を贈るシーンに、私はとても感動し希望を持ったものです。

この世の全ての人を救うために、生け贄の子羊としてお生まれになったイエス様にお礼をするには、私は無知と小さく弱いとむなしさを感じる時に愛の表現はあると思ったのです。

聖母マリア様は一人一人にお礼を言って名前を聞かれ、後にイエス様は公生活時に友人として行方を探します。

この羊飼い達の行いは、汚く臭い馬小屋でお生まれになったイエス様にとって喜ばしい出来事であったでしょうから。

そして今、現代教会の中でも、聖家族とともに東方の三博士と並んで彼らも並び安置されています。

「王の中の王」イエス様に愛と感謝の形として侍者の仕事が手段の一つとしてあります。

司祭の手により小さなパンに聖変化が起こり、神の子イエス様が生け贄としてお下りになる時最も近くで仕えることが出来るのです。

その羊飼いの中で、一番年老いたものが一番若い者に「お前が一番若くて罪が少ないから、お前が様子を見てきてほしい」と。

小さな信徒の皆さん、私たちと一緒に侍者として働きませんか？イエス様は小さな信徒の皆さんがもっと近くに来るのを待っておられると思います。

初めは人前に出るのはとても恥ずかしいと感じたりしますが、それ以上に多くの「恵み」をいただけます。

参加はいつも自由です。「やりたいな」と思った時がイエス様に呼ばれた時です。



【特集】

萩巡礼旅行

萩巡礼旅行に参加して 赤石良夫

9月23日秋分の日当水巻教会は新型コロナウイルスの流行で中止になっていた2年に一度の巡礼旅行を5年振りに実施。これに先だち、谷口神父をはじめ教会役員方の下準備をしていただいたおかげで順調に日程を進めることができました。9月に入っても連日の猛暑続きであったのに、当日は曇り空で風もあり比較的涼しい一日でした。

最初に萩カトリック教会を訪問し、信者数名の方々に教会敷地内を案内してもらいま

した。広い敷地内を我々の訪問に備え草刈りなど迎え入れるための準備作業があったと話をされました。教会敷地内には納骨堂、宿泊施設、果樹園があり、萩の特産、夏みかんの木がたくさん植わっており、秋にはその実から信者さん達がフルーツゼリーを手作りするのだそうです。23日当日ミサ後の昼食時にそのフルーツゼリーを皆で頂きました。大変おいしかったです。

又、宿泊施設は古い建物ですが20人は泊まれるそうで一人素泊、1000円らしいです。大勢での研修等では便利かもしれません。

次に行ったのがキリシタン殉教者記念公園で萩は

明治政府が行った浦上の信者に対する迫害において流刑地の一つとなった場所です。

萩で亡くなった浦上の信者たちの遺骨収集のため奔走していたパリ外国宣教会のビリヨン神父のはたらきによって建立された岩国屋敷の一角にこの殉教者記念公園が





あります。そこでお祈りをささげてから次への移動途中で萩城跡指月公園に残されている石垣を車中から見学してこの場所が「五郎太石事件」の現場であることの説明を受けました。この事件の主人公能谷元直は萩城築城の際今で言う現場監督の立場の人でした。

石垣を築く際隙間に水はけを良くするための小石の盗難事件の責任を負い、時のキリスト教禁制とも重なり処刑されたのです。

最後に訪問したのが報恩寺でお寺の本尊が設置されてある裏の箇所にはキリシタンが隠れて礼拝していた場所があり、改修工事の際、キリス

ト像が発見され、現在でも保存されています。

厳しい時代に宗教の違いを超えてキリシタンを匿った、発見されれば重罰も覚悟しなければならないときの当時の住職の思いを今に伝えていると感じた旅でした。

この巡礼旅行が我々、現在の信者が今後信仰を深めるキッカケになることを期待し、次の世代に引き継げていけたらと思いました。



萩教会へのメッセージ



9/23 は大変お世話になりました！私たち水巻教会の信者を迎えるために骨折ってくださいましたこと忘れません。次はぜひ遊びがてらおいで下さいませ。谷口尚志神父

真心のこもった様々なご準備おもてなしに心より感謝致します。神様のお恵をお祈りします。

報恩寺のお坊様に感謝します。信心ある人の心が人から人につながった。祈ります。世界の平和 萩の皆様の温かい接待の数々！ありがとうございました。

皆さんの温かく優しい、そしておもてなしに感謝申し上げます。また萩に行きたい！

皆さんのお世話になるのを覚悟で思い切って参加しました。偶然にアレックス神父様にお会い出来てうれしかったです。年齢を重ねて知っている顔の方々も少なくなっていて、世代交代を感じました。世話して下さいった役員の方々に感謝。

浦上四番崩れ流刑者の地「萩」巡礼することが出来感謝です。殉教者の血によって、イエスキリストの教会が支えられていること、萩教会と水巻の連帯の絆が深まったことも賛美

家族で参加でき、とても勉強になりました。ありがとうございました！

萩教会の神父さま、信者の皆様には大変お世話になりました。良い思い出になりました。

(感謝の色紙から)





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 11月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

先日は第61回運動会が開催されました。今までの練習の成果を、十分に発揮している子どもたちに成長を感じる一日でした。本番はたくさんのお客様に見守られながら、緊張している子もいましたが、精一杯取り組むことができました。年長児は最後の運動会となり、自分の選んだ種目に責任を持ち取り組んでいました。クラス対抗リレーでは、何度も走る順番を変えたり、どうすれば早く走ることが出来るのか、子ども達で話し合ったりして作戦を考えていました。本番は最後まで諦めず、バトンを繋ぐことができました。

畑のさつまいもが育ち、子どもたちと収穫に行きました。様々な形のさつまいもを収穫した子どもたちは「大きいさつまいもだね」「細いさつまいもだよ」とお話しする姿がありました。食育を通して食べ物の大切さを伝えていきたいです。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559
e-mail : ContactUs@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉

柿の木が、今年も実をつけ、楽しく眺める日々でした。幹の直径が7~8cmしかないのに、大人の背丈の2倍以上も高くなり、一つ熟しては落ちてきます。10月になり、いよいよ全部に色がついたようなので、長い脚立を借りてきて採ることにしました。25個も、ありました。マリア様に、「こんなに立派な柿が採れました。どうぞ！」幼稚園へもおすそ分け。やっと涼しくなりました。思いっきり走れる季節です。「ヨーイ、ドン!!」(新入園児の)〇〇ちゃんも、お母さんと一緒に走りませんか?畑活動の後、幼稚園の園庭で毎日駆けっこをしています。



TEL : 050 5212 7759
HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家
園長 水口 由美
教職員 一同

委員会等報告

2023年10月分

10月度小教区委員会 10月1日

1. 行事予定

- ・11月 3日(金) 神学院祭(ミサ)
- ・11月 5日(日) 七五三の祝福式
小教区委員会
- ・11月 19日(日) ころの会
14時～地区聖書講座(直方教会)
18時～ベトナム語ミサ(直方教会)
- ・11月 26日(日) ミサ後、馬小屋・イルミネーションの飾りつけ

2. 議題

(1)各専門委員会および代表委員(宮繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

①広報委員会

- ・からしだね 11月号に、萩巡礼旅行の記事・写真を載せる。

②典礼委員会

- ・9月10日(日) 典礼委員会を開き、ミサにあずかる姿勢の確認や聖歌隊から提案が出された。次回10月22日(日)待降節前あたり、再度典礼委員会を開く。

③総務委員会

- ・議題(4)を参照のこと。

④宮繕の部

- ・教会の施設をパトロールするメンバーを募集中。まずはその集まりから修繕箇所の提案を行うことにする。

⑤納骨堂管理の部

- ・管理規約の改訂作業中。カトリック北九州納骨堂との連携のかたちを整えるため、役員

の方との打ち合わせを行う。

⑥冠婚葬祭の部

- ・他の教会での結婚式に参列し、水巻教会での結婚式に活かすため、11月12日(日)13時から小倉教会で行われる結婚式に参列させていただくことにした。

⑦北九州地区宣教司牧評議会

- ・10月8日(日)14時～ 第三回 北九州地区聖書講座(新田原教会)、また、10月15日(日)14時～ ディエゴ 加賀山隼人と同志殉教者記念ミサがある。※10月15日(日)は、各小教区の主日ミサにおいて取り次ぎを願う祈りを唱えることを確認した。

- ・教区信徒協との関係について。現在、地区信徒協が解散している地区(北九州、筑後、佐賀、熊本地区)があるのにも関わらず、教区信徒協は存在しているという状況。(地区信徒協が存在していた時の名残として地区評議会からの代表者の派遣、教区信徒協への分担金の提示を謳っている現行の規約(地区信徒協が存在していた時のものを参照して作成した規約)の改訂も早急に行う必要があるため、一旦、代表者の派遣と分担金の提示を見合わせることにした。

- ・活動団体の参加について。北九州地区宣教司牧評議会(地区評議会)においては、定例会の開催 20日前までに活動団体から運営委員会に議案の提出を行うという条件で、地区評議会の定例会において活動報告や活動支援の呼びかけをしていただくという形を取るようになる。

・教区創立 100 周年記念行事実行委員会の立ち上げにあたり、地区評議会から 1 名を委員として選出した(新田原教会/大水氏)。

(2) 小グループの活動を充実させることについて

・教区宣教司牧方針に基づき、小グループの活動を活発化させる必要がある(教区創立 100 周年記念行事が行われることにも乗じて)。小教区委員会規約の第 9 条に基づき、総務委員長が小教区委員会と小グループとの窓口となって小グループとの集まりを開き、小教区委員会と連携して活動の充実を図るようにする。※聖歌隊は典礼委員会と連携。

(3) 敬老のお祝い、萩巡礼旅行について ＜敬老のお祝いについて＞

・維持費を納付したいとの声があったため、75 歳以上の方の信徒籍を信徒記録票と照合する。
・記念品は今後も配布するようにしたいが、その方法については工夫が必要。

＜萩への巡礼について＞

・スケジュールどおりに進めることができたのでよかった。今後、これまで 2 年に一度行っていた巡礼を継続して企画するという形にこだわらず、宣教司牧評議会から提案される行事に応える形でも、それを巡礼と捉

えることができるため、積極的な参加を呼び掛けるようにする(2027 年には福岡教区が創立 100 周年を迎えるにあたっての行事も準備されている)。

(4) その他

- ・クリストフォールより。今月より、教会に来ることのできないご高齢の方への訪問を再開する。ご聖体とともに、『心のともしび』を追加で注文し、それを持参する(加えて『教区報』や『からしだね』、『2024 年度版カレンダー』も)。
- ・11 月 3 日(金)の神学院祭に参加する方は、飲食物に関しては各自で準備していただく。
- ・11 月 10 日(金)に炊き出しのための弁当を 130 食分準備する(抱樸への支援)。
- ・ワックスがけについて。可能ならば 11 月 12 日(日)にできないか。難しければ 12 月 3 日(日)か 17 日(日)になる?
- ・12 月 9 日(土)～10 日(日)、待降節黙想会。指導はアウグスチノ会の桑原篤志神父様(黒崎教会出身)。
- ・来年の四旬節黙想会の指導はベリオン神父様。日時は 2 月 25 日(日)9 時半ミサ後～。テーマを次回決める。
- ・12 月 24 日(日)は午前中に待降節第 4 主日、夜はクリスマスイヴとなる。パーティーを昼に行うことにした。

図書室より

福岡黙想の家より譲られた本 53 冊を「福岡黙想の家」コーナーに並べました。中には貴重なものもあり、御受難会の神父様方の姿と重ね合わせて味わってみてはどうでしょうか。

ご利用いただくと同時にご意見・希望図書等大歓迎です。よろしく願い致します。豊永真理子





**★諸聖人の祭日・死者の日のミサは
ありません★**

今年は、諸聖人の祭日のミサ、死者の日のミサ、ともにありません。通常の朝のミサを7時から行います。

**★馬小屋・イルミネーションの
飾り付け★**

11月25日のミサ後に、馬小屋のイルミネーションの飾り付けを行います。皆さんの手伝いをよろしくお願いします。

★特別献金★

9月24日 世界難民移住移動者の日
24,170円
ご協力、ありがとうございました。

★営繕部よりお礼★

営繕見回りパトロール隊に多数の参加をいただき感謝しています。
今から年末に向け準備が続きます。これからも、皆さんの参加よろしくお願ひします。

★こころの会★

日 時：11月19日(日) ミサ後
11月は第4日曜日ではなく、第3日曜日に行います。

NPO 法人抱樸（ほうぼく）への支援活動

水巻教会は外に出向いて行く教会、宣教する教会として、NPO 法人抱樸が「出会いから看取りまで」と掲げる伴奏型支援活動に協力しています。

路上生活者は減少していますが、生活困窮者が増えています

★「ホームレス支援炊き出し」 お弁当130食を作ります。

日 時：2023年11月10日(金) 9時～

★<お手紙カード> お弁当の上に添えています。

塗り絵は教会学校の子どもたち、メッセージはふれあい会が中心に作成、信徒の皆さんの協力の輪が広がっています。

～ 受け取った方がほっこりできますように ～

お手伝いをしていただける方は、聖堂後方にある「ホームレス炊き出し協力者」の用紙にお名前を記入してください。

<抱樸支援会>